



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 カメイ株式会社
コード番号 8037 URL <https://www.kamei.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀井昭男
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 遠藤忠章
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 022-264-6112

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	132,621	6.8	3,878	16.8	4,205	9.3	2,696	4.8
2023年3月期第1四半期	124,181	26.5	3,320	35.8	3,845	30.7	2,573	49.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,029百万円 (7.0%) 2023年3月期第1四半期 4,334百万円 (51.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	80.27	
2023年3月期第1四半期	76.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	300,889	147,487	46.6	4,170.46
2023年3月期	307,556	144,299	44.6	4,079.60

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 140,128百万円 2023年3月期 137,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		18.50		22.00	40.50
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当2円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	244,000	0.6	6,200	8.4	6,600	12.1	4,100	15.8	122.02
通期	551,000	0.0	14,000	10.4	15,200	8.8	9,200	7.4	273.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	37,591,969 株	2023年3月期	37,591,969 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,991,621 株	2023年3月期	3,991,538 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	33,600,375 株	2023年3月期1Q	33,600,601 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢による原材料価格の高騰や世界的な金融引締めの影響など先行き不透明な状況が続いております。

国内経済においても、ウクライナ情勢の影響や円安による物価の上昇が続いており厳しい状況となりました。

このような環境のなか、当社グループは、「地域社会に密着し、人々の生活に役立つ総合商社として活動発展することをめざす。」という企業理念のもと、お客様の多様なニーズに的確にお応えするため、新商材・新事業の開発に積極的に取り組むとともに、各種商材の提案営業を強力に推進しました。

また、グループの総合力向上と経営基盤を強化し将来にわたる持続的な成長を図るため、新規顧客獲得を推進するとともにM&Aによる事業領域の拡大や人的資本経営に積極的に取り組みました。

さらに、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、バイオマス原料から作られる次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」や、製造から燃焼までに排出されるCO₂をオフセットする「カーボンニュートラルLPガス」などの販売を開始いたしました。

以上の結果、売上高は自動車関連事業や海外・貿易事業の伸長などにより1,326億21百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は38億78百万円（前年同期比16.8%増）、経常利益は42億5百万円（前年同期比9.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億96百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①エネルギー事業

当事業部門における石油関係につきましては、構造的な石油製品需要の減少が続く厳しい販売環境のなか、新規・深耕開拓に努めるとともに、CO₂削減需要に対応すべく食料との競合や森林破壊を起こさないバイオマス原料から作られる次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」の取り扱いを開始いたしました。

LPガス関係につきましては、新規顧客獲得やM&Aによる商権買収に努めるとともに、LPガスの原料採取から燃焼までの全ての過程で排出されるCO₂を環境保全活動により創出されたカーボンクレジットでオフセットする「カーボンニュートラルLPガス」の提案やハイブリッド給湯器などの環境商材の販売を強化しました。

ガソリンスタンドでの販売は、お客様のニーズにお応えするため、タイヤ・整備・洗車・コーティングなどトータルサービスの強化を図り、新規顧客獲得に努めました。また、カーコーティングプロショップの新規出店など、競争力の強化に努めました。

以上の結果、売上高は601億15百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は9億74百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

②食料事業

当事業部門における食品関係につきましては、新規・深耕開拓に努めたものの、原材料価格の高騰や物流コストの上昇による利益率の低下などにより厳しい状況となりました。

酒類関係につきましては、地酒などの差別化商品の販売強化や輸入ワインの取扱商品を拡充するとともに、新規・深耕開拓に努めたものの、販売競争の激化などにより低調に推移しました。

以上の結果、売上高は84億64百万円（前年同期比2.3%増）、営業損失は46百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となりました。

③建設関連事業

当事業部門における建設事業関係につきましては、鉄骨工事が増加したものの、鋼材価格や労務費の上昇に伴う利益率の低下などにより厳しい状況となりました。

ハウジング関係につきましては、ハウスメーカー及び工務店への住宅設備機器の提案営業や、新規・深耕開拓に努めたものの、やや厳しい状況となりました。

以上の結果、売上高は138億15百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は3億3百万円（前年同期比58.9%減）となりました。

④自動車関連事業

当事業部門における国産車販売につきましては、半導体供給不足の緩和により生産台数が回復するなか、法人営業の強化に努めたことなどにより販売台数が伸長し好調に推移しました。

輸入車販売につきましては、減産による新車の入荷遅れなどにより販売台数が減少し厳しい状況となりました。

レンタカー関係につきましては、法人客の新規・深耕開拓に努めたことや、ビジネス需要やレジャー需要が増加したことにより順調に推移しました。

以上の結果、売上高は194億12百万円（前年同期比35.5%増）、営業利益は12億67百万円（前年同期比63.2%増）となりました。

⑤海外・貿易事業

当事業部門における海外事業関係につきましては、米国内で展開する日系スーパーマーケットがロサンゼルスに新店舗をオープンしたことや、米国での日本食卸販売の伸長などにより好調に推移しました。

貿易事業関係につきましては、水産物の輸入や中国向けベアリング及びアジア向け自動車用電装部品などの輸出が増加したほか、海外ブランドシューズなどの販売が伸長したことにより好調に推移しました。

以上の結果、売上高は193億78百万円（前年同期比19.7%増）、営業利益は12億44百万円（前年同期比42.9%増）となりました。

⑥ペット関連事業

当事業部門におけるペットフード・用品関係につきましては、自社ブランド商品の開発強化とホームセンターなどへの販路拡大に努めたことにより好調に推移しました。

園芸用品関係につきましては、自社ブランド除草剤・肥料の拡販や新規・深耕開拓を推進したことなどにより順調に推移しました。

以上の結果、売上高は43億94百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は1億88百万円（前年同期比126.4%増）となりました。

⑦ファーマシー事業

当事業部門につきましては、新規出店による店舗網の拡充効果や地域の皆様から選ばれる「かかりつけ薬剤師・薬局」への取り組みなどにより処方箋枚数が伸長し順調に推移しました。

以上の結果、売上高は46億10百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は65百万円（前年同期は67百万円の営業損失）となりました。

⑧その他の事業

その他の事業につきましては、オフィス機器販売、リース業、運送業及び保険代理店業などを展開しており、新規顧客の獲得や提案営業の強化に努めました。

以上の結果、売上高は24億30百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は3億93百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,008億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億67百万円減少しました。これは主として、前連結会計年度末に計上された売掛金の回収が進んだことなどにより現金及び預金が28億30百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が83億38百万円減少したことによるものであります。

負債は1,534億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億54百万円減少しました。これは主として、前連結会計年度末に計上された買掛金の支払いにより支払手形及び買掛金が74億47百万円減少したことによるものであります。

純資産は1,474億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億87百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が19億62百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は46.6%（前連結会計年度末は44.6%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,080	47,910
受取手形、売掛金及び契約資産	91,619	83,281
商品及び製品	28,772	30,453
仕掛品	3,240	3,854
原材料及び貯蔵品	616	487
その他	16,791	14,035
貸倒引当金	△218	△198
流動資産合計	185,902	179,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,372	63,636
減価償却累計額	△39,538	△39,921
建物及び構築物（純額）	23,834	23,715
土地	35,026	35,054
その他	73,966	73,826
減価償却累計額	△42,552	△42,852
その他（純額）	31,414	30,973
有形固定資産合計	90,274	89,743
無形固定資産		
のれん	1,274	1,219
顧客関連資産	2,470	2,377
その他	2,631	2,575
無形固定資産合計	6,376	6,172
投資その他の資産		
投資有価証券	16,949	18,142
その他	9,176	8,141
貸倒引当金	△1,123	△1,135
投資その他の資産合計	25,002	25,148
固定資産合計	121,653	121,064
資産合計	307,556	300,889

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,871	50,424
短期借入金	47,699	47,412
未払法人税等	2,671	1,043
賞与引当金	1,848	1,355
その他	19,708	20,275
流動負債合計	129,799	120,511
固定負債		
長期借入金	8,340	8,017
役員退職慰労引当金	152	58
退職給付に係る負債	2,448	2,476
資産除去債務	1,232	1,250
その他	21,281	21,087
固定負債合計	33,456	32,890
負債合計	163,256	153,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,132	8,132
資本剰余金	7,361	7,361
利益剰余金	116,514	118,476
自己株式	△4,228	△4,228
株主資本合計	127,780	129,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,972	3,772
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	371	371
為替換算調整勘定	5,986	6,288
退職給付に係る調整累計額	△34	△46
その他の包括利益累計額合計	9,295	10,386
非支配株主持分	7,223	7,358
純資産合計	144,299	147,487
負債純資産合計	307,556	300,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	124,181	132,621
売上原価	104,754	111,521
金融収益	240	230
売上総利益	19,668	21,331
販売費及び一般管理費	16,348	17,452
営業利益	3,320	3,878
営業外収益		
受取利息	10	15
受取配当金	149	169
仕入割引	51	54
持分法による投資利益	59	48
その他	455	308
営業外収益合計	726	597
営業外費用		
支払利息	103	123
寄付金	53	49
貸倒引当金繰入額	—	80
その他	44	17
営業外費用合計	201	270
経常利益	3,845	4,205
特別利益		
固定資産売却益	8	4
保険解約返戻金	148	—
その他	1	0
特別利益合計	158	4
特別損失		
固定資産除却損	65	18
投資有価証券売却損	0	—
その他	0	1
特別損失合計	66	20
税金等調整前四半期純利益	3,938	4,189
法人税、住民税及び事業税	1,108	993
法人税等調整額	151	323
法人税等合計	1,259	1,316
四半期純利益	2,678	2,872
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	175
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,573	2,696

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
四半期純利益	2,678	2,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	855
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	1,617	303
退職給付に係る調整額	3	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	9
その他の包括利益合計	1,655	1,156
四半期包括利益	4,334	4,029
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,247	3,791
非支配株主に係る四半期包括利益	86	237

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	エネルギー事業	食料事業	建設関連事業	自動車関連事業	海外・貿易事業	ペット関連事業
売上高						
外部顧客への売上高	61,418	8,270	13,361	14,322	16,193	3,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	715	409	12	56	98	0
計	62,133	8,680	13,374	14,379	16,292	3,889
セグメント利益又は損失(△)	1,113	△17	738	776	870	83

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファーマシー事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	4,321	121,776	2,404	124,181	—	124,181
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	1,309	1,456	2,765	△2,765	—
計	4,336	123,086	3,861	126,947	△2,765	124,181
セグメント利益又は損失(△)	△67	3,497	320	3,818	△498	3,320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△498百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△500百万円及び固定資産に係る調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					
	エネルギー事業	食料事業	建設関連事業	自動車関連事業	海外・貿易事業	ペット関連事業
売上高						
外部顧客への売上高	60,115	8,464	13,815	19,412	19,378	4,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	503	441	14	52	99	0
計	60,619	8,906	13,830	19,464	19,477	4,394
セグメント利益又は損失(△)	974	△46	303	1,267	1,244	188

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファーマシー事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	4,610	130,191	2,430	132,621	—	132,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	1,123	1,356	2,479	△2,479	—
計	4,621	131,315	3,786	135,101	△2,479	132,621
セグメント利益又は損失(△)	65	3,997	393	4,390	△511	3,878

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△511百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△512百万円及び固定資産に係る調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。